



ディフェンス上達のこつ (2)

前回からの続きですが、今回は5つのディフェンス基本方針の2番目「アクティブになる」
ときです。こうする方針は

- a) いつでもトリックが逃げて行きうる
- b) ディクレアララーのサイドスートは穴あきである
- c) ビッドがスラムに行きかねないような強さを示している
- d) 長い走るスートを持たれている

ときです。要は、黙っていると取れるトリックが逃げていってしまうようなときは、高くてもリスクを冒すべきだと言うことである。2つ例を挙げよう：

♠ A742
♥ 94
♦ KJ42
♣ 1065

WにいてビッドはSから1H-2C; 2H-3H; 4H///となった。何をリードすべきか?一番良いのはダイヤモンドである。下手をすると損をする形をしているが、たぶん黙っていればクラブの下に捨てられてしまうだろう。DAQに取られたとしても問題ではない。たぶんそれはダミーの強力なクラブの下に捨てられてしまうものだからである。全部のハンドは次のようになっていた：

♠ A742	♠ Q103	♠ J965			
♥ 94	♥ K8	♥ 1065			
♦ KJ42	♦ 1083	♦ A97			
♣ 1065	♣ AKJ83	♣ 942			
	<table border="1"> <tr><td>N</td></tr> <tr><td>W E</td></tr> <tr><td>S</td></tr> </table>	N	W E	S	
N					
W E					
S					
	♠ K8				
	♥ AQJ742				
	♦ Q65				
	♣ Q7				

結局ダイヤモンドリードでないと先に10トリック取られてしまう。ダイヤモンドはKJしかなく触ると損をする形ではあるがここで損をしたとしても、いずれはクラブの下に捨てられてしまうのなのでリスクを冒す価値があると考えべきである。

もう一つの例は次ページでEに居て、Sからウィーク2SでオープンされてNに4Sとレイズされコントラクトとなった。パートナーはH2をリードしてきた。HKで取って次ぎはどうすべきか?

♠ AQ72					
♥ 9	ダミー				
♦ AJ3					
♣ KQJ105					
♥ 2	<table border="1"> <tr><td>♠ 843</td></tr> <tr><td>♥ AK1065</td></tr> <tr><td>♦ K107</td></tr> <tr><td>♣ 42</td></tr> </table>	♠ 843	♥ AK1065	♦ K107	♣ 42
♠ 843					
♥ AK1065					
♦ K107					
♣ 42					

ディクレアララーにCAがあれば絶望的である。クラブで5トリック、たぶんスペードで6トリックダイヤモンドエースを加えて合計12トリックで、相手は6スルーズだろう。だからパートナーにCAを仮定する。ディクレアララーには6枚のスペードがあるだろうからこちらにはスペードのトリックはない。あと取れるものがあるとするとダイヤモンドである。もしパートナーにDQがあればCAで入ったときにK10の2トリック取れるだろう。

したがって迷わずD7をリターンすべきである。ディクレアララーにDQがあったら、ダイヤモンドで2トリック与えることにはなるが、これはもともとクラブの下にディスカードされてしまうのだから、何ら損害にはならない。

ディフェンスのどの段階においても、常に相手のウィナーの数を数えていなければいけない。

(続く)